



DSO参加機関の公開イベントご案内

◆ 筑波大学 ◆ 任期付き教員・研究員、博士学生対象 キャリア・フォーラム

産業界で今まさに活躍している若手～中堅の元ポスドクに、それぞれのキャリアパスやその転機を紹介していただき、さらに、産業界から「博士人材への期待」を紹介していただきます。またポスドクや博士学生の就職事情の最新動向や、筑波大学におけるポスドク・博士学生の人材育成支援策を紹介し、キャリアパス構築をサポートします。博士のキャリアパスに興味・関心のある方は奮ってご参加ください。

【プログラム】

ショートセミナー「博士・ポスドクの就職」～キャリアパスの「いま」～

深澤 知憲 氏(株式会社エマージングテクノロジーズ 人材情報室長)

基調講演「博士人材への期待」

立堀 道昭 氏(日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 主任研究員 博士(工学))

フォーラム「わたしの就職活動記～博士・ポスドクから企業へ」

奥井 隆雄 氏(化学メーカー勤務、「博士の生き方」管理人、専門:基礎物理)

安田 圭吾 氏(エレクトロニクスメーカー勤務、元ポスドク、専門:バイオ)

筑波大学「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の紹介

【日時】2012年2月23日(木) 18:30～20:15

【場所】筑波大学 第1エリアD棟2階 204-1

【申込/問い合わせ】男女共同参画推進室 准教授:遠藤雅子(E-mail:geo@un.tsukuba.ac.jp)

【定員】30名 【Webサイト】<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/2134>



◆ 筑波大学 ◆ 博士学生・ポスドク対象就職セミナー～研究者の為の企業向け応募書類の作り方～

【プログラム】

1. 人材採用スキーム紹介 (なぜ博士を採用するのか?、人材を採用する方法・流れ、必要な応募書類)
2. 応募書類作成の秘訣1(履歴書・業績リスト)
3. 応募書類作成の秘訣2(職務経歴書・研究経歴書)

【日時】2012年2月29日(水) 14:00～17:00

【場所】筑波大学 第1エリアE棟2階 204

【定員】30名

【お問い合わせ・お申し込み先】男女共同参画推進室(遠藤)

TEL: 029-853-8504 E-mail: geo@un.tsukuba.ac.jp

【Webサイト】<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/2143>

◆ 産業技術総合研究所 ◆

第10回 介護に関する勉強会

【講師】角田とよ子 氏

(社会福祉法人浴風会 介護支え合い電話相談室長)

【趣旨】介護では何が起こるのか。介護支え合い電話相談に寄せられる、実際に介護をされている方々からの「心の声」についてお伺いし、介護そのもの、人間関係、経済的問題など様々な事柄について知るとともに、その心構えや準備、対処方法、各種制度などについて学んでいきます。

角田氏が室長を務めておられる介護支え合い電話相談は、介護にあたる家族の悩みを聴き介護者を支援することを目的に2000年に開設され、これまで延べ44,000人もの介護家族に寄り添ってきた実績のある無料の電話相談です。

【日時】2012年3月12日(月) 13:30～15:30

【場所】産業技術総合研究所 つくばセンター中央第2 本部・情報棟1階 ネットワーク会議室(定員約120名)

※大阪や名古屋など産総研地域センターでもTV会議システムにて同時配信予定です。地域センターで受講を希望される方は、下記ホームページをご覧ください。

【対象】研究機関・大学等に属する方、どなたでも参加可能

【申込】氏名・所属(機関名・大学名など)・メールアドレス・参加会場・事前質問(もしあれば)をご記入の上、下記連絡先まで電子メールにてお申込下さい(締切:3月6日)

【詳細】<http://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/>

【連絡先】産業技術総合研究所 ダイバーシティ推進室

介護勉強会担当 e-mail:worklife-sec@m.aist.go.jp

TEL:029-862-6418

◆ 農業・食品産業技術総合研究機構 ◆

九州沖縄農業研究センター男女共同参画セミナー

【講演】

「男女共同参画は多様性」 橋木 晶子 氏 医学研究院教授
九州大学 男女共同参画推進室長(総長特別補佐)

【日時】2012年3月2日(金) 14:00～16:00

【場所】九州沖縄農業研究センター

研究交流センター会議室 熊本県合志市須屋2421

<http://konarc.naro.affrc.go.jp/index.html>

※ テレビ会議システムにより九州沖縄農業研究センター各拠点内に配信予定です。ご参加を希望される場合は、農研機構女性研究者支援室までご連絡下さい。

【お問い合わせ・お申し込み】E-mail:f-support@ml.affrc.go.jp

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして月1回発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。

シリーズ:DSO参加機関のご紹介 ⑧

*** 国立大学法人 弘前大学 ***

【機関概要】

青森県弘前(ひろさき)市にある弘前大学は、人文学部、教育学部、理工学部、農学生命科学部、医学部の5学部と7大学院研究科を擁する中規模総合大学です。北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所、被ばく医療総合研究所の3研究所と地域共同研究センターなど11の学内共同研究センターがあります。青森県の特性を教育、研究、社会貢献の中心課題とした人材育成と情報の発信をすることを目標に「世界に発信し、地域とともに創造する弘前大学」を掲げています。

平成23年4月現在の学生数は、学部学生6,114名(内女性2,667名)、大学院学生816名(内女性239名)です。教員・研究者数は1,855名(内女性846名)です。

【ダイバーシティへの取組、男女共同参画への取組】

平成21年8月3日に「弘前大学男女共同参画宣言」と「行動計画」を公表し、同じ年の10月1日に、学長直属の組織として、男女共同参画推進室ができました。多様な立場にある人びとが、その能力を十分に発揮できるよう、学びやすく働きやすい環境を整えることをめざしています。平成22年度に、女性研究者研究活動支援事業(女性研究者支援モデル育成)の採択をうけて、地域資源を生かした人材(才知ある人々)育成のためのしくみづくりをすすめるべく、活動しています。

大都市圏から遠い、冬の降雪が多いなど(とくに今年は記録的です)不利な条件もあるのですが、コンパクトな都市構造や、子育て・介護に関わる豊富なサービスなど、地方の利点を生かしたしくみづくりを進めています。

教職員が使える制度の情報を集めた情報ナビの整備や、部局の違う女性研究者や学生が、気軽なお茶会方式で集う女性研究者フォーラムを開いて、学内の情報交流をはかり、既存の取組みと連携して、科学の楽しさを広めるためのイベントも活発に開いています。その勢いで、理工学研究科に理工女子会もできました。意識啓発と広報のために、講演会やニュースレター「さんかくつうしん」も発行しています。このほか、弘前大で開催される学会の託児室サービス支援などを組み合わせて、地方型のワークライフバランスの実現を提案していきます。



情報ナビ



DNA実験講座



女性研究者と語ろう!

DSOへの参加を認めていただいて、ありがとうございました。さまざまな取組みを進めておられる参加機関の皆様と交流させていただくことで、より良い活動ができるようにしたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

【所在地】〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
【ウェブサイト】<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/>



ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

男女共同参画の取り組みを進めている研究教育18機関では、ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)を組織し、ワークライフバランス支援や意欲触発支援のノウハウを蓄積・発信・共有を進めております。

*DSOメンバー(参加順):産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業環境技術研究所、千葉大学、筑波大学、神戸大学、農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、農業生物資源研究所、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、弘前大学

<編集・発行> ダイバーシティ・サポート・オフィス事務局

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第2 つくば本部・情報技術共同研究棟7階 独立行政法人産業技術総合研究所 ダイバーシティ推進室内

TEL:029-862-6418 FAX:029-862-6882 E-mail:diversity-s-office@m.aist.go.jp URL:<http://unit.aist.go.jp/diversity/ja/dso/>



筑波大学が「平成23年度茨城県子育て応援企業表彰」優秀賞を受賞しました

「平成23年度茨城県子育て応援企業表彰」の表彰式が、茨城県庁にて、2月8日(水)行われました。本学は「仕事と子育て両立支援部門」において**優秀賞**を受賞し、男女共同参画担当の鈴木久敏副学長が本学の取組について発表しました。また、受賞の副賞として笠間焼の雛人形もいただき、受賞翌日、山田学長にご報告いたしました。」

(<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/2139> より)

※ 茨城県では、仕事と育児が両立できる職場環境づくりや、仕事と生活の調和がとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組んでいる企業のうち、顕著な成果があったものを表彰し、当該企業が社会的に評価される仕組みをつくることにより、企業の自主的な取組みの促進を図ることなどを目的として、平成19年度から「茨城県子育て応援企業表彰」を実施しています。DSOでは、平成21年度に産総研も優秀賞を受賞しました。



女性の健康週間 毎年3月1日～3月8日

3月8日は「国際女性デー」です。1977年国連総会の呼びかけにより、女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが各国に期待されています。

また「女性の健康週間」は、2008年より厚労省、2005年より日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会などが呼びかけています。女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、各地にて毎年様々な情報発信・市民講座などのイベント・女性の生涯健康手帳配布が行われます。

<参考：第3次男女共同参画基本計画 第10分野 基本的な考え>

- 男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の前提と言える。
- 生涯を通じて男女は異なる健康上の問題に直面することに男女とも留意する必要がある、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(性と生殖に関する健康と権利)の視点が殊に重要である。

お役立ち情報

◆ 内閣府、男女共同参画推進連携会議「女性の経済活動小委員会」◆ シンポジウム「女性の経済活動を通じた地域経済活動の活性化」

男女共同参画社会の実現は、多様な人材が活躍することによってもたらされます。女性の経済活動の推進は、日本経済の活性化において喫緊の課題です。女性は、地域において、生活者の視点から環境等の課題の解決を図りながら、「社会的企業」分野や農業分野等で重要な担い手になっています。

基調講演 藻谷 浩介 氏 (株)日本総合研究所 調査部 主席研究員、(株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問、NPO法人 地域経営支援ネットワーク 理事長

パネルディスカッション セーラ・マリ・カミングス氏 (株)文化事業部 代表取締役、(株)榎一市村酒造場 代表取締役

阪本 恵子 氏 (株)ビッグバイオ 代表取締役

日置 真世 氏 北海道から地域づくりを創造・発信する場づくり師

(コーディネーター) 高橋 俊介 氏 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授

【日時】2012年2月24日(金)13:30～16:00(受付13:00～)

【場所】日本学術会議 1階 講堂 <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

【参加申込】ホームページよりお申し込み下さい。先着順、定員(300人程度)になり次第締切

【ホームページ】<http://www.gender.go.jp/gyouji/sympo.html>

【お問い合わせ先】内閣府男女共同参画局総務課企画係 Tel:03-5253-2111(内線83704)

編集後記

宮崎大学に続き、弘前大学が12月に新たに加入されました。北は青森から南は宮崎まで、幅広い地域に連携の輪が広がります。今後、皆様のお力添えを頂きながら、情報交流がより活発化するよう各種取組を進めて行きたいと思っております。